

加藤市長が2年間の成果をまとめて、中間報告！

# マニフェスト2010

土台づくりの2年間（前期）

新しい小田原へ！着実に進行中！！

☆この2年間の最大の成果は多くの市民が市政に参加したことです。

## 1. いのちを大切にする

### ①市立病院の機能拡充

- 県西部地域の基幹総合病院  
救命救急センター、地域医療支援病院
- ②地域包括支援センターの機能拡充
- ③小学2年生までの少人数制
- ④障がい児・障がい者の支援
- ⑤食育「教育ファーム」 など

## 2. 希望と活力が溢れる

- ①有機農業、モデルタウン
- ②地域資源を活かす「無尽蔵プロジェクト」  
（「ウォーキングタウン小田原」などの取り組み※）
- ③ふるさと大使の創設
- ④事業仕分け・行政改革 など

※NPO 小田原まちづくり応援団が、国登録有形文化財「清閑亭」を、まち歩き事業などの拠点として、実験的に活用する事業をスタート（詳しくは、広報小田原6月号をご参照下さい）

## 3. 市民が主役の小田原へ

☆柔らかい段階で、市民が議論し、政策をつくるスタイルの定着

☆原則、すべてが公開されている。傍聴も可能です。

### ①各種検討委員会の開催

- (1)まちづくり(中心市街地活性化) (2)行財政改革
- (3)地域コミュニティー(4)ケアタウン構想(5)自治基本条例
- (6)生ごみ堆肥化(7)環境再生プロジェクトの各検討委員会
- そして、(8)市民ホール建設準備会(9)総合計画審議会

これらの主要なものだけでも、延べ**77名**の市民委員

### ②多くの市民が参加・協力！

- (1)新総合計画[TRYフォーラム **200名**]
  - (2)自治基本条例[オープンスクエア **375名**]
  - (3)地域運営協議会[地域別計画 約 **750名**]
- の実施への準備(その他にも多数あり)

## ◎三大案件は

1. 市民ホール——市民による芸術文化創造拠点として用地拡大と新基本構想づくりは進んでいる [市民ホール建設準備会(専門家4名、市民委員5名)]
2. 地下街——小田原らしい商業空間として平成23年度末再開を目標で推進中
3. お城通り地区再開発——駐車場と公共機能を核とした空間整備に向け、計画を策定中

さる平成22年6月6日(日)

川東タウンセンターマロニエにて

お天気にも恵まれ多数のご来場を頂き

大盛況に開催！！

ありがとうございました



計画実践の2年間（後期）

## チェンジとは「進化」です！！

☆地域や市民が高い問題解決能力を持つまちづくり

## 1. 新総合計画(新しい小田原をつくる計画工程表) 担当 企画政策課 33-1255

- ①自治会連合会の区域ごとに作成した「地域別計画」と一対でまちづくりを進める (2)今年の9月までに9回審議して、10月中に答申。すべて公開、傍聴できます
- ②小田原市総合計画審議会平成22年6月22日に発足 (1)20名の委員と行改で構成
- ③大幅な組織・機構改革
- ④平成23年4月スタート

## 2. 自治基本条例 担当 行政改革推進課 33-1297

- ①自治(まちづくり)の理念やそれを推進するための基本的ルールを定めたもの
- ②「自分たちのまち小田原は自分たちで担っていく」という意思を示したもの
- ③平成23年4月施行を目標

## 3. 地域運営協議会 担当 地域政策課 33-1457

- ①地域力(支え助け合う)の強化
- ②25自治会連合会エリアが基本地域まちづくり検討委員会(約750名)にて「地域別計画」を作成
- ③職員の地域担当制導入
- ④平成23年4月より、いくつかのモデル地域で検証して、順次導入する

## ◎「新しい小田原」を育てよう

スローガン『市民の力で未来を拓く希望のまち』

未来への投資6分野

- ①子ども(安心して子育て、郷土愛) ②生産力向上 ③自然環境の再生
- ④都市の顔(中心市街地の活性化) ⑤芸術・文化力を向上 ⑥地域の力(助け支え合う)

# ◎ 加藤市長マニフェストは！？

## 「任期4年の中間段階の評価として、おおむね順調」

と関東学院大学法学部 出石稔教授 ・(財)地域開発研究所 牧瀬稔氏



総合評価は「おおむね順調」  
100点満点中50点

①8つの分野における、基本方針と重点政策(各10点×8=80点満点)

1 市民の力を活かす市政	5点
2 まちづくり	7点
3 地域経済	4点
4 医療と福祉	5点
5 暮らしと防災・防犯	4点
6 教育と文化	6点
7 自然環境	4点
8 行財政改革	4点
合計	39点

②4つの重要課題への対応(各5点×4=20点満点)

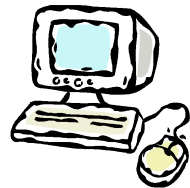
1 小田原城周辺のまちづくりビジョン	2点
2 地域医療体制の立て直し	3点
3 財政再建への取り組み	3点
4 広域合併へのスタンス	3点
合計	11点

③総合評価(100点満点)

(1)+(2)の合計	50点
------------	-----

詳しい内容をお知りになりたい方は

加藤けんいち 検索 でホームページ  
トップページ「お知らせ」  
をご覧ください



## ◎ 各種検討委員会の 参加者からの報告

1. 行財政検討委員(平井さん)  
行政は予算を、民間は決算を重要視する。価値観が大きくちがう。協働が一層大事です
2. 自治基本条例検討委員(金井さん)  
昭和22年に制定された地方自治法には1000以上の条文の中に、住民の権利をうたったものは2つしか書いていない。制度疲労を起こしている
3. 地域コミュニティ検討委員(鈴木さん)
4. 環境再生プロジェクト(村越さん)
5. 生ゴミ堆肥化検討委員(石井さん)
6. ケアタウン構想(下田さん)  
緊急要請カード(かかりつけ医師名など)を冷蔵庫に貼っておくだけで便利



## ◎ 来賓挨拶



神山洋介衆議院議員

小田原市の抱える課題も、国の抱える課題も基本的には本質は同じです。行政の解決できることには限りがあり、地域に住む個人々々がどこまで課題を解決できるかを認識することが大切です。  
本日の中間報告の発表を受けて、私も市民の一人として加藤市長とともに課題解決に動いてゆきます。



吉田雄人 横須賀市長

石垣市長(沖縄)の件で加藤市長は有名になりましたが、私も加藤市長のマニフェストをずいぶん参考にさせて頂きましたので、マネフェストです(笑)  
市民一人ひとりがマニフェストの何が実現されるべきかを考え、向き合ってください。残りの2年をよく見ていてください。

## ◎ バザールの様子



全国どこに行っても同じ店がある昨今、「小田原にはこんな店、こんな活動があります！」と紹介しながら、市民の力を引き出したいと考え、福祉、環境、商工、農等の分野から、手作り、アート、体験教室、地場産食材とそれを使った弁当等、40店近い個性あるショップに出店して頂き、大変賑わいました。

小田原の潜在力を実感でき、更なる発展に思いを馳せました。

## 参加者の声！

加藤市長が「市民が主役のまちづくり」という高い目標に向かって、この2年間にやってきたことを知り感激しました。  
そして、この壮大な計画は、来年の4月にスタートを切ります。  
いよいよ、私達市民の力の見せどころです。私達ができることを喜んで担うことで「すばらしい小田原」が生まれると思えました。

## おだわらを拓く力 川東南部支部

(当会は加藤けんいちを後援しています)

連絡先

電話 0465-21-5260

FAX 0465-21-5261

〒250-0011 小田原市栄町 2-13-1

<http://www.katoken.info/index.html>

E-mail [powers@mbn.nifty.com](mailto:powers@mbn.nifty.com)

